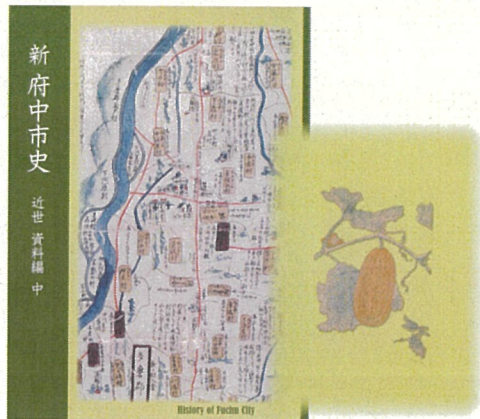


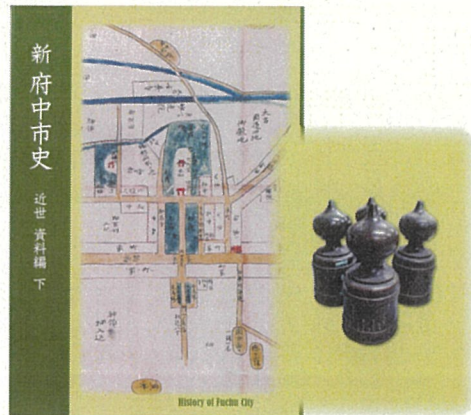
府中市史編さんだより

第13号 令和5年(2023)4月25日



中巻カバー表

同裏



下巻カバー表

同裏

『新府中市史 近世資料編 中、下』を刊行

『近世資料編 中、下』巻の二冊を刊行しました。府中宿を中心に扱った上巻に続き、中、下巻ではその他の地域に焦点を当てて編集を行いました。

中巻では、村々での人々の暮らしや生業にかかわる資料を中心に掲載しています。市域に存在した村の概要や人々の生活、そして年貢、瓜、鮎の上納といった村々に課された負担とその対応、新田開発、産業、陸上・河川交通など様々なテーマを取り上げました。さらに、府中の歴史を特徴づける多摩川や鷹場に関する資料も収録しました。

下巻では、市内に所在する寺社、特に六所宮(大國魂神社)の由緒や神事、そして地域の文化活動や教育に関する資料を中心に選定しました。また、江戸時代後期に治安維持のため設けられた関東取締出役と改革組合村、幕末維新期の府中の様子を示す資料についても収録しました。

本紙カバーには、表側には巻全体をイメージする絵図、裏側にはそれぞれの巻にかかわる資料をレイアウトしました。中巻のカバー裏は、幕府への献上物として府中で栽培された真桑瓜を描いたものです。江戸時代初め頃、美濃国真桑村から呼ばれた瓜作人により府中に栽培技術がもたらされ、御用瓜の生産が始まりました。近年では、「鳴子ウリ・府中御用ウリ」の名で江戸東京野菜として知られ、今日も栽培されています。

下巻のカバー裏には六所宮本殿につけられていた擬宝珠を掲載しました。六所宮の社殿は、正保

3年(1646)の府中本町の大火により焼失しましたが、寛文5年(1665)に將軍徳川家綱の命で再興が図られ、同7年3月に完成しました。擬宝珠は、この寛文期に建てられた本殿に取り付けられていたものです。造営にあたったのは、時の老中で普請奉行をつとめた久世大和広之(くぜやまとのひろゆき)(1609 - 1679)という人物でした。擬宝珠には、久世大和守の家臣と思われる岩下半左衛門と角田作之右衛門の名が刻まれています。久世大和守は、本殿の棟札やビード口鏡、朝鮮国の硯、数眼鏡など数々の貴重な物品を六所宮に寄進しており、詳細については本紙の口絵で紹介しています。

今回の刊行をもって、近世の資料編は完結となります。この3冊の資料編をベースとして、江戸時代の府中の歴史を分かりやすく、親しみやすい内容でお届けできるよう通史編の刊行に向けて調査・執筆作業を進めています。

中巻 B5判 579頁 価格2,000円

下巻 B5判 563頁 価格2,000円

頒布場所：ふるさと府中歴史館3階、郷土の森博物館、市政情報センター(ル・シーニュ5階)、市民相談室(市役所1階)、観光情報センター(大國魂神社交番横)

郵送にてお求めの場合は末尾の電話番号、メールアドレスまで送料をお問い合わせください。

第 58 回府中市市民芸術文化祭 府中市史談会公開講座 古代から中世の府中の歴史を探る

令和 4 年 9 月 11 日 (日) に府中市市民活動センタープラッツバルトホールに於いて、府中市史談会主管による公開講座が開催され、府中市史編さん専門部会の委員が講演しました。

小野一之先生 (府中市郷土の森博物館前館長、原始・古代専門部会委員) は「聖徳太子と法隆寺を支えた武蔵の人々」と題して講演されました。聖徳太子が建立したとされる奈良法隆寺の写真を提示して、武蔵にかかわる事柄のうち、とくに黒駒の伝承や物部兄麻呂の話、全国的に広まる太子信仰、府中にも太子堂を持つ寺院があることなどをお話しされました。

海老澤衷先生 (早稲田大学名誉教授、中世専門部会部会長) は「院政時代における武蔵国の変革～藤原成実・平知盛・源頼朝～」と題して

講演されました。平安後半期ころまで武蔵国は他国と比べて評価の低い「亡国」という扱いを朝廷で受けていましたが、その評価を変えたのが白河院政期に武蔵守となった中流貴族藤原成実であること、平氏政権下で清盛の四男知盛が武蔵守となるなど、武蔵国と中央政権とのつながりが深まり、国自体の評価が高くなっていったこと、最終的には頼朝がその地盤を受け継ぎ鎌倉幕府成立以後は非常に重要な国となっていったことなどをお話しになりました。

お二方のお話に共通するものは、どの時代にも武蔵国と中央とのつながりを強くする時期があったということで、歴史が繰り返されることを改めて感じる興味深いお話でした。



小野一之先生



海老澤衷先生

第 35 回多摩郷土誌フェア開催

令和 5 年 1 月 21 日 (土)・22 日 (日) の 2 日間にわたり、立川市女性総合センターアイム 1 階センターギャラリーにて第 35 回多摩郷土誌フェアが開催されました。本フェアは、多摩地域の各自治体が発行した書籍を展示販売するもので、今回は 22 市町の自治体が参加しました。コロナ禍の影響で 3 年ぶりの開催ということもあり、当日は例年以上の賑わいを見せ、それぞれの自治体の販売ブースを熱心にご覧になる方が多くいらっしゃいました。府中市刊行物にも非常に関心が寄せられ、手に取るだけでなくご購入くださる方も多く、中には追加の搬入が必要なものも出るほどでした。



↑府中市ブースの様子 (ともに 1 月 21 日) →



令和 4 年度第 1 回 府中市市史編さん審議会

7 月 21 日 (木) に令和 4 年度第 1 回審議会 (第 4 期 2 回目) を開催しました。

事務局より、市史編さん事業全体の進捗状況、市史刊行物の頒布状況、今後の発行予定等について報告しました。委員からは、市史刊行物をより広く市民の方に手に取っていただけるよう、周知を工夫すること等についてご意見をいただきました。

令和 4 年度第 1 回 府中市市史編集委員会

8 月 26 日 (金) に令和 4 年度第 1 回委員会を開催しました。

事務局より、市史編さん事業全体の進捗状況、市史通史編執筆要領の改正、各専門部会の活動状況等について報告した後、委員 (各部会長) からの報告を行いました。また、コロナ禍での調査活動の困難さや、他部会との調整等について、意見交換や情報提供が行われました。

市史編さんの活動記録 (令和4年7月～令和5年1月)

- | | | | |
|--------|----------------------------|-------|------------------------------------|
| 7月1日 | 押立金井家文書調査(近世) | 2日 | 民俗専門部会(オンライン) |
| 7日 | 国立公文書館調査(近世) | 6日 | 府中囃子競演会調査(民俗) |
| 9日 | 分梅八雲神社祭礼調査(民俗) | 7日 | 妙龍寺、称名寺調査(考古・美術工芸)
称名寺調査(民俗) |
| 11日 | 武蔵野ふるさと歴史館調査(近現代) | 9日 | 人見研修所調査(考古・美術工芸) |
| 13日 | 民俗専門部会(オンライン) | 13日 | 中世専門部会 |
| 14日 | 郷土の森博物館調査(近世) | 14日 | 市内飲食店調査(民俗) |
| 17日 | 押立本村神社祭礼調査(民俗) | 18日 | 郷土の森博物館調査(近世)
西藏院調査(近現代) |
| 21日 | 市史編さん審議会
市内商店調査(民俗) | 22日 | 立正院調査(考古・美術工芸) |
| 25日 | 近現代専門部会
市内飲食店調査(民俗) | 23日 | 称名寺(日限子育地蔵尊縁日)調査
(民俗) |
| 27日 | 民俗専門部会打合せ(オンライン) | 28日 | 市内民俗調査(民俗) |
| 8月9日 | 郷土の森博物館調査(近世) | 29日 | 市内民俗調査(民俗) |
| 11日 | 中世専門部会 | 12月9日 | 郷土の森博物館調査(近世) |
| 18日 | 郷土の森博物館調査(近世) | 11日 | 中世専門部会 |
| 22日 | 正光院調査(民俗) | 12日 | 近現代専門部会
市内民俗調査(民俗) |
| 25日 | 善明寺調査(考古・美術工芸) | 15日 | 市内民俗調査(民俗) |
| 26日 | 市史編集委員会 | 16日 | 木遣調査(民俗) |
| 9月2日 | さいたま市アーカイブズセンター調
査(近現代) | 19日 | 国文学研究資料館調査(自然) |
| 3日 | 市内民俗調査(民俗) | 20日 | 考古・美術工芸専門部会 |
| 6日 | 東京都公文書館調査(近現代) | 22日 | 近世専門部会
個人宅調査(近現代)
市内民俗調査(民俗) |
| 7日 | 善明寺調査(考古・美術工芸) | 23日 | 原始・古代専門部会(考古分野) |
| 9日 | 大國魂神社、郷土の森博物館調査(近
世) | 25日 | 正月準備調査(民俗) |
| 14日 | 妙光院調査(民俗) | 31日) | 市内年越し調査(民俗) |
| 22日 | 近世専門部会
大太鼓関係者調査(民俗) | 1月1日 | 6日 |
| 27日 | 郷土の森博物館調査(近世) | 6日 | 大國魂神社出初式調査(民俗) |
| 27・28日 | くり祭り調査(民俗) | 7日 | 府中市出初式調査(民俗) |
| 30日 | 自然専門部会 | 9日 | 押立どんど焼き準備調査(民俗)
原始・古代専門部会(文献分野) |
| 10月2日 | 下石原八幡神社祭礼調査(民俗) | 12日 | 郷土の森博物館調査(近世)
本願寺双盤念仏調査(民俗) |
| 4日 | 考古・美術工芸専門部会 | 15日 | 押立どんど焼き調査(民俗) |
| 5日 | 善明寺調査(考古・美術工芸) | 20日 | 近現代専門部会 |
| 7日 | 郷土の森博物館調査(近世)
近現代専門部会 | 25日 | 自然専門部会 |
| 8日 | 大國魂神社抜穂祭調査(民俗) | 27日 | 郷土の森博物館調査(近世) |
| 20日 | 民俗専門部会(オンライン) | | |
| 11月1日 | 花蔵院調査(民俗) | | |

部会通信(令和4年7月～令和5年1月)

原始・古代専門部会

『通史編』の刊行に向け、編集委員の原稿がそれぞれ提出され、その原稿を元に仕様書を作成、刊行に向けての業者選定を行い、入稿という流れで進められました。当初に立てた節や項、小見出しなどの内容が書き進められていくにつれて変更が出てきたり、考古分野に掲載される図版の作成が難しかったりなどで、なかなか厳しい状況です。12月23日に考古分野の部会を、1月9日は文献分野の部会を開催し、刊行に向けてのスケジュールを確認し、現在刊行に向け必死に取り組んでい

ます。

中世専門部会

『通史編』の編集作業が大詰めを迎えています。令和4年7月から12月にかけて、計3回の部会を開催し、原稿の最終調整を進めるとともに、『通史編』で掲載する図版写真の準備を行いました。現在、編集作業は入稿を経て校正の段階に入りましたが、これまでの資料収集・調査活動の集大成としてふさわしい内容となるよう、最後まで注力してまいります。

近世専門部会

『通史編』の執筆に向けて追加調査や図表の作成、また図版等で用いるための関連資料・史跡の撮影に取り組んでいます。専門委員に加え、新たに執筆協力員の方々にも加わっていただき、充実した内容の『通史編』を刊行できるよう作業を進めています。

また、7月1日には編さん室でお預かりしている押立金井家文書の現状記録調査を行いました。専門員や協力員の意欲的な活動により、資料群の全体像が明らかになりつつあります。

近現代専門部会

『通史編 上』の編集作業を進めております。部会会議では『通史編 上』の原稿の調整を行い、加えて『通史編 下』についても構成の検討を行い、内容を固めてまいりました。さらに、原稿については関係者や関係機関に内容の確認も行っていただき、より正確で充実したものになるよう進めております。

民俗専門部会

年中行事や信仰、農業といったテーマに関係している市民にお話を聞かせていただく調査を多数行いました。昨年に比べて復活傾向にある夏祭りや、大晦日から元旦にかけての年越し行

事の調査が行えたのは大きな収穫でした。どちらの調査でも共同飲食の機会を減らすなど、現在も密を避ける工夫をして行事を執り行っていることを教えていただきました。コロナ禍以前・以後の視点をもって、引き続き記録・分析していきたいと考えています。

自然専門部会

平成27年度より、市内小学校を中心とした各所に温湿度計測機器を設置し、定点観測を実施してきました。その経過は、過去の「市史編さんだより」でも取り上げてきましたが、このたび令和4年8月末で調査を終了することとなり、計測機器の回収作業を行いました。同じ場所で長年にわたり蓄積された気温と湿度のデータは、大変貴重なものです。調査結果は『通史編』にまとめられる予定です。

考古・美術工芸専門部会

考古分野では、掲載資料の調査と撮影を実施しました。彫刻分野、絵画分野では、市内の所蔵者にご協力をいただき、継続してご仏像、絵画の調査、撮影を行っています。

全体会議では、来年度刊行に向けて、事務局で作成したスケジュール案、内容案をもとに協議しました。

|||| 前号以降、次の皆様にご協力をいただきました。ありがとうございました。(五十音順・敬称略)||||

相澤啓雄、石川裕三、市川閲子、市川千秋、市川紀子、大國魂神社、大久保直行、押立文化センター圏域コミュニティ協議会、押立本村神社の皆様、金井洋、蕪木富子、かぶらぎみなこ、菊池武彦、北多摩陸消防組第二区一番組、木遣保存会、花蔵院、河内進一郎、河内千恵子、国府八幡宮の皆様、国文学研究資料館、小林清秀、小林勤、是政八幡神社賛会、是政保育園、西蔵院、さいたま市アーカイブズセンター、佐伯宗治、下石原八幡神社の皆様、下村盛章、正光院、称名寺、成城大学図書館、善明寺、高野茂久、種村威史、東京都公文書館、内藤和良、長瀬芳美、中溝一、中村誠、人見氏子会、福井衛、府中愛児園、府中市郷土の森博物館、府中市立図書館、府中囃子保存会、分梅八雲神社の皆様、古橋研一、本願寺、本願寺結衆講、松野英夫、松村清隆、松村茂夫、南分倍保育園、妙光院、妙龍寺、武蔵野ふるさと歴史館、武蔵府中熊野神社古墳保存会、屋敷分浅間神社の皆様、横田和三、横田実、依田武、依田富美子、立正院

府中市史編さんだより 第13号 令和5年(2023)4月25日

編集・発行 府中市文化スポーツ部ふるさと文化財課市史編さん担当
〒183-0023 東京都府中市宮町3丁目1番地 ふるさと府中歴史館
電話：042-335-4376 電子メールアドレス：bunkazai02@city.fuchu.tokyo.jp
URL：<https://www.city.fuchu.tokyo.jp/bunka/bunka/shishihensan/>